



写真・市谷 健「来たぞ。やったあ！」

遠くからの手紙

東京・三鷹市の岡本菜穂子さんのおたよりです。

——母のふるさととは愛媛の田舎です。海の見える坂道の思い出をよく話します。親姉弟もなくなり、遠ざかって三十年。「元気なうちに一度と行っていましたが、連れて行く余裕ができたときには、足腰が弱って動きが不自由になりました。

一月ほど前、その母のところへ女学校時代の親友から手紙がとどきました。便箋のほか古びて黄ばんだ文集と写真が入っていました。何十年も開けたことのない箱から出てきたそうです。写真は、ちよつとすまして背伸びしたようなワンピースの少女、「なんだか恥ずかしいね」。作文集は見せてくれません。嬉しかったのでしよう、すぐ電話をしました。

最近は何事にも消極的で心配していたのですが、その日から母に気力が戻りました。その方も体がままならないので、自分が行こうと決心したら、張り合いができたようです。今度こそ、車イスになります。母を連れていきます。母にとっては、女学生の自分から届いた手紙でもあったようです——。

この頃はメールの人が多くなりましたが、手紙は遠くの風もいっしよに運んでくるような気がします。人の手を介して届けられるからでしょうか。ふるさとを思い出しました。

株式会社ダスキン会長

伊東美幸

no.484

喜びのタネまき新聞

読む人の幸せを心に願って作る

いのち のいろ

(9)
絵と文
葉っぱの画家
群馬直美

よく見かける木に、いつの間にか
実がなっているとうれしくなります。
その実が食べられて、おいしければ、得した気分。
ムベの実もその一つです。

ムベの実
は懐かしい味

10月30日採集 ムベ／紙にテンペラ

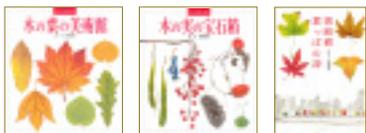


紫色に変身

ツルについた緑色のジャガイモ(？)みたいな趣で、ムベの実がなっているのに気づいたのは、夏のころでした。
熟すと紫色になるんだけどな…。この木のあるお宅の前を自転車で通るときは、スピードを緩めて心待ちに。
ところが、秋になっても、いつまでも緑色のまま。どうしたこと？と思っていたら、ある日突然、紫色に変わっていました。
「心配ないよ。きれいな色でしょ？」とでも言いたげに。

鳥の代わりに試食

庭掃除をしていたこの家のおばさんに声をかけると、実をつけた枝をたくさんくれました。
「ひよどりのえさになるだけだからね。食べると甘いよ」
隣の家具工房の友と三人でさっそく試食。実を割ると黒い種。種の周り
は半透明の果肉です。生まれて初めて食べる実。みんなビクビク…。



種ごとほおばると、ジュウシーで甘くておいしいっ！その昔は、砂糖代わりに使われ、無病長寿の霊果と言われていたとか。むべなるかな。種を飛ばしながら、口々に「懐かしい味だね」と盛り上がりました。その後、鳥に食べられることもなく黒く干からびて枝についていたムベの実。私たちが恩恵にあずかったけど、鳥も飽食の時代なんではないでしょうか？

「おやつに、おかずに、おつまみに…」 「ピザ風ポテト焼き」



お料理研究家 こいけりえ

肌寒くなると恋しくなるのはアツアツおやつ。今回はタマネギと混ぜたジャガイモの薄切りをピザ生地代用し、チーズをのせてフライパンで焼くだけの簡単メニュー。ボリューム満点でおやつにも、おかずにも、そしてお父さんのおつまみとしても最適！家にある材料で、あっという間に出来るんです。

◎作り方

ジャガイモ3個は皮を剥いて、スライサーで薄切りにする。スライサーは手早く出来てよいけれど、手を切らないように気をつけること。スライサーがなければ包丁で2mmくらいの厚さにカットする。ジャガイモ同士がくっつくように、スライスした時に出てきたでんぷんは、決して水にさらしたり、洗ったりしないこと。

タマネギ2分の1個は薄切りにし、フライパンに大きじ2分の1のサラダ油を温めたら、しんなりするよう炒める。

スライスしたジャガイモをボウルに入れ、その中に炒めたタマネギを入れて塩、コショウ少々をふりかけて混ぜ合わせる。



フライパンにサラダ油大きじ2分の1を入れ、少し温まったところへ混ぜ合わせたジャガイモとタマネギを隙間のないよう、フライパン全体に並べ、上からヘラで少し押し付けるようにして形を整える。フタをして弱火で8分くらい焼く。固まったら焼き目がついたら、裏返しにする。その時、ジャガイモは崩れやすいので、一度お皿をフライパンに当てて取り出してから裏返しにするときれいに出てきます。裏返したら、またフタをして同様に8分くらい焼きます。ジャガイモのふちに焼き目がついてカリッとしてきたら焼き上がり。

火を止めてケチャップ大さじ1を全体に塗ります。お好みで黒コシヨウをふり、タバスコを2〜3滴加える。大人向けになりませす。ケチャップの上にとろけるチーズ50gをまんべんなくのせて、フタをして3〜4分おく。チーズがとけたらお皿に移して、パセリを振りかけて出来上がり。冷めても美味しく召し上がれます。



おやつの時間 簡単、美味しい楽ラクレシピ



みてもらおう！

見てうれし、見せてうれし、この写真。わたしの出番の1枚を送ってください。



「ぶふっ、ぎゃははは！」
群馬県甘楽町 小柴真知子



「ママ、いってきましゅ」「どこへ？」
愛知県豊橋市 田村昌子



小6と小5の息子は少年野球団
北海道江別市 宮川江里子



家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしております！
(詳細は7ページ)

アート&エッセイ。
『木の葉の美術館』『木の葉の宝宝箱』
(各2100円)。
最新刊『街路樹 葉っぱの詩』(B5判232
ページ/2310円)いずれも世界文化社刊
(価格は税込み)。

群馬直美/群馬県高崎市生まれ。
東京都立川市在住の画家。
作品はインターネットでもご覧になれます。
<http://www.wood.jp/konoha/>



ぼかしかさねの色目が美しい橙緑屋とうろくやのふろしき
染めの仕事に入ったのは
人との出会いからでした。

埼玉県飯能市の山奥。齋田次郎さんの工房「橙緑屋」をお訪ねして丹念に仕上げた手染めのふろしきを見せていただいた。最近では全国各地のデパートなどで個展も開き、ぼかし染めに魅せられるお客様も多い。本来の包む用途のほか、小ふろしきを額に入れて飾る方も。納得の美しさである。



齋田次郎さんと奥さんの悦子さん。「平安時代は、色のかさねで草花を表現していました。シンプルなぼかしを楽しんでほしいです」

ひとと出会って、仕事と出会って

「こんなきれいな色、見たことない！」丹後ちりめんに見事なぼかし染め。驚いていると、平安時代からの伝統的な色のかさねだという。

松重(まつがさね)



壇(まゆみ)



蓬(よもぎ)



「もともと芸術家を志したのですか？」と聞くと、「大学を出たとき不況だったんですよね」あつさりおっしゃる。「専攻は政治学で出版社とか受けたんですが、まあうまく行かなくて…」

各地を旅して歩くうち、福島で自給自足をしている人に出会い、その暮らし方に魅せられた次郎さん。「母が美術の先生、祖父が看板の職人。自分で気付かなかったけど、職人つていいなと思った」だから、染めにたどりつく下地は自分の中にあつたのに違いない。

合羽橋(東京は浅草にある食や調理に関わる器具、食材、衣装などを扱う問屋街)で「水もとの仕事がたまたまあつて、洗いから入ったそう。問屋さんが注文する図案に沿って染色をし、最後に水洗いで色を定着させるのが水もと。」

その後、手書き友禅やすりぼかし、引き染め、化学染料や天然染料、顔料染めを学んだが、自分の思う柄を染めたい夢と、山暮らしへの憧れは胸から去らなかつた。いつか工房を持ちたい。

親方は「5年は我慢しろ」と言い、修業期間10年が常識だった。が、齋田さんは3年半で独立。「今になって10年と言われた意味が分かる。ぼかしの技術を身につけるのはそれだけかかります」手早く水を吹き、刷毛を動かして塗り込みながら、齋田さんはにっこり笑った。水分は少ないと染料がのびず、多すぎれば滲む。うまくぼかすには、湿度や時間など、経験と勘が必要なのだ。

35歳。弟子入りしてほぼ10年余、自在に生きて、自在に染める自信が出始めた顔をしていた。

自然の中で四季の色を映す

今の工房は飯能市の「子の権現」の下に、江戸時代に建った旅籠。7年前から借りている自宅兼工房は緑に囲まれ、古色蒼然だが雰囲気がいい。

「来た頃は夜が暗くて恐かつた」と都会育ちの悦子さん。今は1年の半分は個展などの関係で都会生活なので「山に住むのも新鮮」とか。

次郎さんの良きアシスタントとして、染めの意匠などの解説もする、無くてならない存在だ。

和服は裾まわしや袖にちりりと配する色が重要で、平安時代には自然を表現した色遊びがあつた。

「白地に桜の着物なら水色を持つてくる。美しいでしょ」と次郎さん。ふろしきは結んだ時の色の合わせや重ねが大切。品良くも華やかにもなる。「水色は露草から絞った染料で、あとで消えるので下絵を描くのに使ったそうです」と悦子さん。「はじめはケンカばかりしていたけど、ここに来て仲良くなつた」と幸せそうな次郎さん。お互いが見えて、染めることへ一致できたからだろう。

「趣味のアフリカの太鼓、ジャンベを叩くと、こだまが返ってくるんですよ」夜は静けさを破り、迷惑になるから叩かない。山暮らしは大切だ。

「日本の色を若い人にもおしやれに使つてほしい」ひとに添い、物に沿つて包むふろしきに、四季折々の自然を映して絹を染める。ここまで来た、これからも続ける、その一途さを、応援したい人である。



桜(さくら)



使い込んだ刷毛。職人さんは道具もきれいだ。この刷毛と次郎さんの手で、下の美しいデザインの染めが生まれる。

夏萩(なつばぎ)	落葉色(おちぐいしいろ)	椿(つばき)	紅梅(こうばい)	蝉の羽(せみのはね)	藤袴(ふじばかま)	枯野(かれの)	白躑躅(しらつづし)	橘(たちばな)	忍(しのぶ)	移菊(うつろいぎく)	若草(わかぐさ)	百合(ゆり)	月草(つきくさ)	枯色(かれいろ)	藤(ふじ)



損？トク？

島根県出雲市 内田夫佐子

「僕の血液型は確かO型だよな？」

先日、中学一年の孫が学校から帰るなり、ババの私に聞いてきました。

「そっだよ。O型よ」

「良かった。得した」

「なんで？O型の人は何かもらえるの？」

「O型は得だよ。輸血の時に誰にでもあげられるもの」
「と言っので、

「誰にでもあげられるけど、貰う時はO型からしか貰えないから損じゃあない？」
「すると、

「ううん。やっぱり僕は得だよ。皆にあげられるもの！」
「と言いました。

この子は、70才の私にはとてもかなわない「徳」を持って生まれてきたのだと感動しました。このまま、まっすぐな心で育ってね。

——うーん、見習わなくっちゃ——



楽しい日曜日

熊本県八代市 川北修余

日曜日、娘が2歳の孫を連れて遊びに来ると、仏壇に向かってカネを鳴らし、可愛い手を合わせ、「マンマイさんアツ！」と拝みます。いつも「ニニニ」笑顔のみろく様にも「マンマイさんアツ！」。私も小さい頃から仏様やお地藏様にはそうして拝むものと教えられ、孫にもそう言うてきました。

「おりこうさんね。マンマイさんはね、お空の上から見守っとんな」と孫の姿をほめたら、「マンマイさんは空はとぼっさん。空をとぶとは、ウルトラマン」と言うので、笑ってしまいました。

週に1度遊びに来て、大好きな曲に合わせて体いっぱい歌って踊ります。オルガンをたたいて童謡を歌う孫のほほえましい姿を見ると、亡くなった主人が達者でいたら喜んだらうにと…。

「ばあちゃんまた来週ね！」と投げキッスをして帰って行く孫の後姿から、いつもたくさんのエネルギーをもらっています。

——仏様がマンマイさん。アツは手を拍つ感じかしら。



学んだこと

千葉県市原市 木原理恵

長男出産のために神奈川の主人の実家にお世話になりました。産前2週間、産後1ヶ月くらい予定が半年間も。理由は2歳上の長女の赤ちゃんと返りが原因です。義母は長女のあらゆるわがままに付き合ってくれ、その姿に私の母親としての態度を随分と改めさせられました。育児に限らず家事全般も手際よく、手を抜くことなくこなされて、勉強になりました。飼い猫や私に同行してきた犬にも愛情深く、生き物の命の尊さも学びました。

至らない私に何の小言もなく、甘えっぱなし。義母には感謝の気持ちでいっぱい、帰宅後、主人の実家へのホームシックになった位。気取らず、自然体なのに気品があり、義母と話したくて、毎週1回は電話してしまいます。

義母から学んだことは忘れないうちに実践。この半年間は、ちょっと遅い花嫁修業だったかなあ。

——魅力的なので、ついつい、なついちゃったの。



家族の中で

兵庫県赤穂市 今井昌美

我が家は、夫と私、息子たち三人衆の5人家族。玄関には、港の船のようにクツがぎっしりと並ぶ。そんな中、唯一の女性である母の私は、日々男らしく成長している。たまに女であることを忘れる我が様が、不安にも思える昨今である。

中3、小6、小3と、実に食べ盛りの子どもたちを前に、ひたすら格闘、飯炊き母ちゃん！

ほんわかと笑いの絶えない、ずっけな毎日だけど、子どもたちのエネルギーを全身で感じられることが嬉しい。日々、違う笑いを与えてくれる愛しい我が分身たち。いろんな人の力を借りて、いろんな生き方があることを学んでいってほしい。そして、母が、いつしか女性らしく変身できることを、焦らず見守ってね！

——紅一点はいんどす。お、いつまでも若いんだって。

帝王となる人は、人間の計らいで
あの人にしようとかしてもダメなんです
王様が亡くなられた時、皆から人望があつた
臣下が、「私は引き受けるべきでない」
と後継ぎに譲り、人のいない所へ逃げました。
そうすると人びとはその人を慕つて
集まつてきてそこに都ができたのです。
「住めば都」というのは徳のある人の所へ
みんなが集まつてきて都になるという意味
なんだそうです。血のつながりではなくて、
これから大事なことは徳のつながりでしょう。

鈴木清一

徳によつてつながる

今日は外遊び系。運動会だもん♪



福島県須賀川市 大槻ユミ子

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、
現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。
紙面やホームページでご紹介させていただいた原
稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先
〒163-0223 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
新宿支店新宿住友ビル内分室 私書箱 第47号
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
電話 03(5909)6703
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

お知らせ
「身近な環境問題」や
「身の回りのおかたづけ・おそうじ」が楽しく学習できる
ダスキン キッズタウン ホームページで公開中!

●2ページの群馬直美さんの連絡先は
〒190-0013 東京都立川市富士見町2-32-27 石田倉庫No.3 2F
●4-5ページの齋田次郎さんの連絡先は
工房/〒357-0214 埼玉県飯能市南453
TEL & FAX: 042-977-4652
e-mail: tourokuya@saida.jp
ホームページ: <http://www.tourokuya.net/>

あなたのお便りや
写真をお寄せください



アルバム

京都市与謝野町 水上省悟

先日、60歳の私に感動で涙する嬉しい出来事
がありました。小学生時代の恩師が古いアルバム
をプレゼントして下さいました。

大学を卒業したばかりの新米先生は、約3年
間、私の通った小学校で熱心に優しく教えて下
さいました。戴いたアルバムには、遠足、海水浴、
学芸会、スキー大会等なつかしい写真と共に、先
生ご自身の青春もびっしり詰まっています。50
年前の生活や友の顔も蘇ってきました。

「このアルバムは今後あなたが持つことで、また
価値がでるから」と私に渡して下さいました。また
小学6年の春、大火でアルバムを焼失した私に
とつて、最高のプレゼントでした。一生の宝物に
します。

——人生で最高の日々(ワンバクだったもん)



一期一会

佐賀県白石町 有田こゆき

先日、両親と子供をつれて、福岡の太宰府天満
宮に行きました。かわるがわるカメラを持って、
家族写真を撮っていると、近くにいた男子中学生
が「僕が撮りますので、どうぞ、ご家族みんなで
写真に入ってください」と言つて、みずから写真
を撮ってくれました。

お礼を言つて、立ち話をする、修学旅行で沖
縄から来ていて、来年は高校受験とのこと。「今
の若い人は」と言うけれど、こんな気づかいの
出来る男の子もいるんだなあ、なんだか嬉しく
て、両親と話しながら帰りました。この日は、父
の誕生日でもあり、良い一期一会が出来ました。
我が子も男の子。心やさしい子に育つてほしいと
思つた家族旅行でした。

——ありがとうを何回も言いたくなる日。



エコに鋭い子どもたち

小学生の男の子が考えた、一瞬で畳めるエコ
バック。お母さんが畳むのに苦労していたの
を見て、発明したそうです。最近、幼稚園や保
育園の頃から、環境についての勉強をしてい
る所があるとか。素直で感受性が鋭く、好奇
心の旺盛な時期だからこそ、自然に学べるの
かもしれませんね。ダスキンでも、小学校高
学年を対象に、身近な環境問題や身の周りの
お片付け、おそうじが楽しく学習できる「キッズ
タウン」をホームページに公開しています。ゲーム
感覚で遊びながら、環境保全への
意識が子どもたちの身につけば
いいですね。



環境コラム「ecoらんど」にみなさまの
身のまわりのエコ話をお寄せください。

今年もできました! **便利**でおトクと**評判**の

くらしキレイBOX

Kurashi Kirei Box

USER'S VOICE

使いやすい洗剤が
いろいろ
入っていて
とってもおトク!

USER'S VOICE

使い勝手がいい
ので、ちょっとした
贈り物にぴったり!



セット内容

- ・油污れ用洗剤
- ・トイレ用除菌・洗浄・消臭剤
- ・スプレー4本
- ・ガラス用洗剤
- ・台所用スポンジ(ミニタイプ)
- ・使いこなしガイド
- ・カビ取り剤
- ・ふきあげクロス(おそうじ用)
- ・クーポン

USER'S VOICE

大掃除に必要な
洗剤やツールが
一度に揃えられて
便利!

USER'S VOICE

いろんな
特典が付いて
いて楽しい!

チャンス!

ダスキンの暮らしに役立つ
商品&サービスの
おトくなクーポン券や
プレゼント応募券付き!
いろんなダスキンを体感してください!



お楽しみ!

2009年度特別企画

とってもかわいい
ボン・デ・ライオン
スポンジを
抽選で**10万名様にプレゼント!**
ぜひこの機会に、「くらしキレイBOX」を
購入して応募してください!



応募期間: 2009年10月1日~2010年2月28日

くらしキレイBOX
特別セット価格 **1,365円**(税込)

ダスキンのお客様係募集中!!

主なお仕事内容

- ご契約先のお客様宅への定期訪問
- ダスキン商品やサービスのお知らせなど

詳しくはWEBで

お客様係

検索



携帯からも
アクセス

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行: 広報・広告部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集: 「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキコールセンター

0120-100100 www.duskin.jp